

ERIE 4000トンプレスメンテナンス履歴

メンテ日	箇所	部品	メンテ分類	故障内容	メンテ内容
2020/4/3	ダ イルダ -	左右基準プレート	予防保全	ダ イルダ -搬出、右基準プレート点検	左基準Lプレート厚み18MMそのまま使用、右側プレス側基準プレート後側22.0MMOK、前側摩耗著しいので修正加工後交換実施厚み：前20.6MM後22.0MM
2020/4/2	ガイドギブ	ライナー	予防保全	フレーム溶接による歪を心配してガイドギブ 隙間測定(前回点検補修工事2013・10)	下死点にて下側前左0.2前右0.15後左2.05後右1.65後後左右とも0.3、上側後左右0.7後後左0.03右0.05MM
2020/3/30	ダ イルダ -	本体	定期保全	ダ イルダ -定期交換(上修正加工、下予備新作間に合わない為現物修正加工)	上下修正加工により下H/P厚み103MM、各油圧シリンダ -ロッド 他新作/油圧配管移植、ダ イルダ -サイト ライナー前19.0⇒18.5後19.0⇒18.5MM
2020/3/30	ウェッジ	平行度	定期保全	フレーム溶接補修工事に合わせてメインウェッジ 上面修正加工実施	大型M/Cにて修正加工実施後平行度測定(ジ ャッキUPなし) 右前0、左前-45、右後-65、左後-110(マイナスは広い)⇒右前0、左前+7、右後-30、左後-23(プラスは狭い)40tジ ャッキアップ で右前0、左前+5、右後-11、左後-4(マイナスは広い)
2020/1/6	ダ イルダ -	左右基準プレート	予防保全	ダ イルダ -搬出、右基準プレート奥側割れている	左基準Lプレート厚み18MM後方だけ新作品に交換、右側基準プレート後側は21.7⇒22.0MMに入れ替え、厚み：前20.6MM後22.0MM
2019/6/7	安全装置	光電スイッチ	予知保全	現在使用中の光式安全装置(竹中電子 PST104)が生産中止になり予備部品の入手が困難になる	現行品に変更した(竹中電子 PSG-T014)
2016/11/4	ウェッジ	平行度	予防保全	ウェッジ 解体点検上面修正加工実施	大型M/Cにて修正加工実施後平行度測定(40tジ ャッキUP) 右前0、左前-10、右後-35、左後-41(マイナスは広い)⇒右前0、左前+20、右後+20、左後+45(プラスは狭い)
2016/11/4	ダ イルダ -	プレート	予防保全	ダ イルダ -定期交換(100万回ショット超え)	前回イルダ -サイト 左基準面溶接肉盛摺合せ⇒Lプレート厚み19⇒18⇒17.5MM修正加工(クランプ時-7~-8ミ)右側基準現合でプレート厚み変更修正加工：前20.6MM後21.7MMのまま
2016/10/31	フレーム	ウェッジ 奥側	定期保全	後方下部フレームの割れ補修工事 (2011.8溶接実施、溶接棒/日垂溶剤：NS-309-φ5)	メイン溶接工業施工右奥、下部隅割れ部がウジ ング 実施⇒溶接始めるも割れが次々発生してくるのでウジ ング しながら4日間要す。(溶接棒:LB-26、NXW-300/半自動)
2016/8/27	上部ノックアウト	ストローク	定期保全	ダ イルダ -解体、SKO点検	ラムKOストローク28MM(正規38MM)
2016/8/27	上部ノックアウト	パッキン	定期保全	SKO解体点検	パネ折損につき交換(線径φ10内径φ90総巻き数4.5自由長205)、パッキン交換 パルカ-UHR-100(タレタ)、リング 交換、ボルト5/8-70L
2016/8/27	ウェッジ	平行度	予防保全	ダ イルダ -解体点検時プレス平行度確認	平行度測定(40tジ ャッキUP) 右前0、左前-10、右後-35、左後-41(マイナスは広い)
2016/7/7	ブレーキ	ストローク	予防保全	ブレーキストローク点検(オイルシール交換工事により解体)	ピストンストローク26.5MM⇒約32MMストロークエンド まであと4MMくらしが無い。
2016/2/7	クラッチ	パッキン	定期保全	クラッチ解体、パッキン点検確認	ピストン解体、パッキン点検異常ない為交換なし 日近 ID1735-NBR70(φ1733×1778×25)⇒22.4*25.5*ID1720
2014/12/21	クラッチ	パッキン	定期保全	クラッチ点検時クラッチローターシール部よりエア漏れあり	Uパッキン交換 NOK パッキン UPI 75-95-12
2014/12/21	クラッチ	パッキン	定期保全	クラッチ解体、パッキン確認	ピストン解体、パッキン交換 日近 ID1735-NBR70(φ1733×1778×25)⇒22.4*25.5*ID1720
2014/6/3	ダ イルダ -	ガイドポスト	定期保全	ダ イルダ -6/3~5交換工事	ガイドポスト更新により全て部品交換、復元
2013/11/20	クラッチ	パッキン	定期保全	クラッチ解体、パッキン確認	ピストン解体、パッキン点検 日近 ID1735-NBR70(φ1733×1778×25)、メインギヤに再度ピタルブ 吐布

ERIE 4000トンプレスメンテナンス履歴

メンテ日	箇所	部品	メンテ分類	故障メモ	メンテメモ
2013/8/15	ガイドギブ	ライナー	予防保全	ガイドギブライナー定期交換(前回2011・05)	各ライナー交換(前後ギブライナー、後方下)サイド、エクステンションは交換なし、ラム側H/P新作交換
2012/8/7	ウェッジ	平行度	定期保全	プレスガイドギブライナー交換工事にてウェッジ解体	平行度測定(20トンジャッキUP) 右前0、左前-25、右後-20、左後-33(マイナスは広い)
2012/1/31	ウェッジ	メインウェッジ	定期保全	ウェッジ定期解体点検	
2012/1/31	ダイホルダー	本体	定期保全	ダイホルダー定期交換(上下修正加工品)	
2012/2/3	クラッチ	パッキン	予防保全	運転時クラッチよりエア-漏れ音発生、パッキン劣化していた	ピストン解体、パッキン国産品に交換 日近 ID1735-NBR70(Φ1733×1778×25)、メインギヤ-に再度ピストル-ブ 吐布
2012/1/21	制御盤	荷重計	予防保全	荷重計校正	ダイホルダー交換工事に合わせてカブレーション実施、表示は-580トン(3300トン)。ロードセル101.6MM、かませプレート500+250+130+120+22(Φ240ライナー)、3300トンで確認、SH1124.09MM(ウェッジメモリ1.0)
2011/12/23	クラッチ	ライニング	定期保全	メインベアリング点検によるクラッチ点検実施(前回2011年6月)	ホイル厚み 外 内 中 ・外側はライニング 痛みあり ストローク7.0~7.3MM
2011/12/23	メインモーター	コイル	予防保全	メインモーター定期点検をプレス工事に合わせて実施	解体してみるとレスポート起こしていたのでスターコイル巻替え実施(明西エンジンベアリング :6318CM支給)
2011/12/11	下部ロックアウト	油圧シリンダー	定期保全	ロックアウトシリンダー-油漏れしているので交換実施、地下ピット組み上げ実施	ロックアウトシリンダー-予備品組み換え、交換(荒、仕上げ)
2011/8/29	上部ロックアウト	パッキン	定期保全	SKO解体点検	パネ折損につき交換(線径Φ10内径Φ90有効巻き数4.5自由長205)、パッキン交換 ハルカー UNS-100(タフタン)
2011/8/29	上部ロックアウト	ピン	定期保全	SKO点検	SKOカムレバ-他一式交換、組み付け後ストローク38MM
2011/8/29	ガイドギブ	ライナー	予防保全	ガイドギブライナー定期交換(前回2003・10)	各ライナー交換(前後ギブライナー、後方下)サイド、エクステンションは交換なし、ラム側H/P後が摩耗著しい為次回は新作交換する事
2011/8/29	クランクシャフト	メタル	定期保全	スコッチヨーク大端メタル点検	上はOK、下は伸び0.6MMほどある為交換
2011/8/29	クランクシャフト	ブロンズライナー	定期保全	スコッチヨークブロンズライナー、ハードプレート前回交換03年10月(約8年使用)	スコッチヨーク解体ブロンズライナー割れにつき交換、ハードプレート交換、ノックピン穴修正加工(ピン新作Φ54⇒Φ56×2個)
2011/6/2	クラッチ	ハブ & ホイル	予防保全	クラッチハブ 摩耗測定、清掃	ホイルハブクラッシュ外0.6~0.65 中0.6~0.45 奥0.3~0.35 7年ぶりに解体の為摩耗粉による歯面摩耗促進か
2011/6/6	ブレーキ	パッキン	予防保全	ブレーキシリンダー-からエア-漏れ発生している	シリンダー-解体点検、ピストン溝修正加工実施 オリング P290-1B ピストンストローク26.5MM
2011/6/2	クラッチ	パッキン	予防保全	クラッチ解体点検、パッキン点検	ピストン解体、パッキン硬化しているが予備品前回組み付け不良の報告あるためそのまま組み付ける。予備パッキン手配の事
2011/6/2	クラッチ	ライニング	定期保全	クラッチ定期点検実施(前回2004年9月)	ホイル厚み 外 内 中 ・外側はライニング 痛みあり、カバー取り付けボルト1本折損につき交換 2"×380L ストローク9MM⇒6MM
2009/12/16	ダイホルダー		定期保全	ダイホルダー定期交換	ダイホルダー-下新作(20MM厚み増やす) ダイホルダー-上溶接補修 ウェッジ 20MM厚みを引き修正 プレスウェッジベットの修正加工
2008/11/25	ダイホルダー		予防保全	ダイホルダー定期交換	ダイホルダー定期交換 ウェッジ解体 プレス精度測定 (梅田機工3日間)
2008/12/6	メインモーター		予知保全	メインモーター軸受診断実施	メインモーター軸受診断実施 特に問題なし
2007/11/11	メインモーター	モーター	予知保全		メインモーター軸受け診断

ERIE 4000トンプレスメンテナンス履歴

メンテ日	箇所	部品	メンテ分類	故障メモ	メンテメモ
2007/9/30	下部ロックアウト	油圧シリンダ -	定期保全		KOシリンダ - 交換
2007/6/12	下部ロックアウト	作動油	予防保全		作動油更新タンク内清掃 サクションフィルター清掃
2007/5/30	フライホイール		予防保全	ドライブ軸へアリング 温度上昇 点検すると軸摩耗していた	ドライブ軸 へアリング 交換
2006/2/23	金型クランプ 装置		予防保全	型クランプ ユニットポンプ 圧上昇せず	ポンプ 交換
2005/4/27	ダイホルダ -		予防保全		ダイホルダ - ガイドポスト増し締め
2004/9/12	クラッチ		予防保全	クラッチ 定期点検	カバー取り付けボルト1本折損あり ストローク8mm
2004/7/4	メインモーター	モーター	予知保全		メインモーター軸受け診断
2004/5/22	下部ロックアウト	油圧シリンダ -	予防保全	ロックアウト用油圧ユニット、少しずつ作動油減っている	シリンダ - 交換 (両方) ヒット清掃実施
2003/5/25	メインモーター	モーター	定期保全		メインモーター軸受け診断実施
2003/3/22	下部ロックアウト	作動油	予防保全		油圧作動油更新 スーパーハイランド SE-P46 サクションフィルター清掃
2003/2/1	ダイホルダ -		定期保全		4000トンダイホルダ - 交換 ウェッジ 点検修正、ヒット面摺り合わせ実施
2003/3/28	ダイホルダ -	プレート	定期保全		FPダイホルダ - ハードプレート新作、交換
2003/3/31	クランクシャフト	メタル	予防保全	スコッチヨークハードプレート前回交換00年5月 (約3年使用)	スコッチヨークハードプレート、ガイドギブ 交換。スライド 下面修正加工
2003/3/31	上部ロックアウト	シール	予防保全		ロックダウンピン、ガイドブッシュ、パッキン交換
2002/9/3	ブレーキ		定期保全	ブレーキ点検	ブレーキ点検、異常なしのため手入れのみ
2002/9/3	クラッチ		定期保全	クラッチ定期点検	クラッチ分解、内部清掃、特に異常なし
2002/5/19	メインモーター	モーター	予防保全	メインモーター振動測定	軸受け診断実施 負荷側、反負荷側ともグリス給油出来ず (配管折れている)